

# 超高齢・人口減少社会における 自治会・町内会の役割に関する調査報告

平成27年3月

中央区自治協議会  
人にやさしい暮らしのまち部会

## はじめに

新潟市中央区自治協議会では、今年度、超高齢・人口減少社会における地域コミュニティの役割について検討を行っております。

超高齢・人口減少社会を迎え、さまざまな地域課題の解決には、行政や企業だけでは対応が困難になってきており、地域コミュニティの基本である自治会・町内会の担う役割が重要になってきています。

中央区は、高齢化が顕著な地域、古くからの結びつきが深い地域、大規模なマンションが多い地域などが混在し、多種多様なライフスタイルのもと、自治会・町内会活動が行われています。

このような状況のなかで、皆様がどのような活動に取り組んでいらっしゃるかをお聞かせいただき、当協議会としての提案を発信していきたいと考え、本調査を実施させていただきました。

本調査は、皆様方のご意見を受け、以下のとおり日常的な関係づくりの現状についてまとめました。

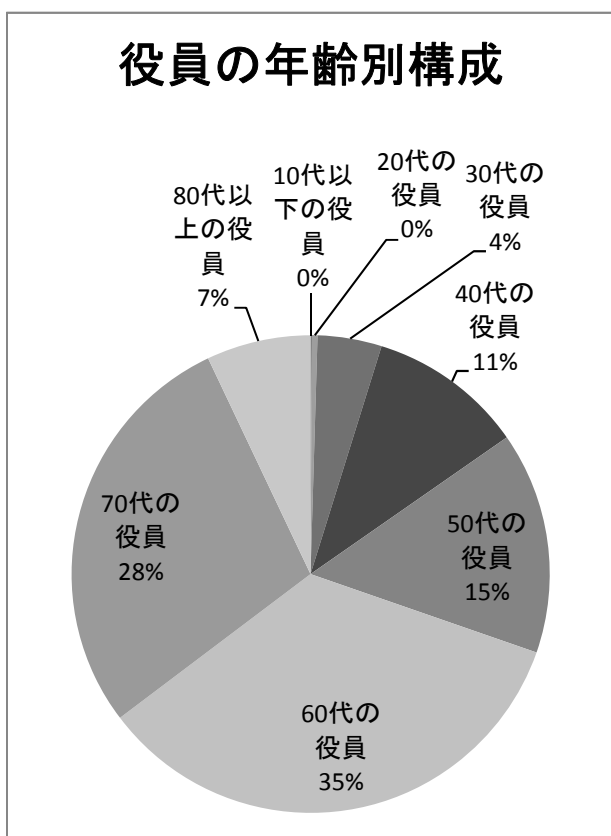
## 平成26年度 超高齢・人口減少社会における 自治会・町内会の役割に関する調査について

- 1 調査目的 超高齢・人口減少社会における自治会・町内会の取り組み事例等を収集し、地域コミュニティの役割についての提案を発信する基礎資料とするため
- 2 調査期間 平成26年11月28日(金曜)から  
12月12日(金曜)まで(2週間)
- 3 調査対象 中央区内の自治会・町内会
- 4 調査件数 上記513団体(平成26年10月1日現在)
- 5 回答数 367団体
- 6 回収率 71.5%
- 7 主な調査内容
  - 質問1 基礎情報(世帯数、役員構成、戸建・集合住宅割合)【P.3～5】
  - 質問2 支援・交流に関する活動状況【P.6～16】
  - 質問3 取り組みを行う場合に特に必要なこと【P.16】
  - 質問4 戸建・集合住宅に関する取り組み、工夫【P.17】
  - 質問5 後継者の育成に関する取り組み、工夫【P.18】
  - 質問6 自治会・町内会相互の連携や協力などについて【P.19】
  - その他意見について【P.20】

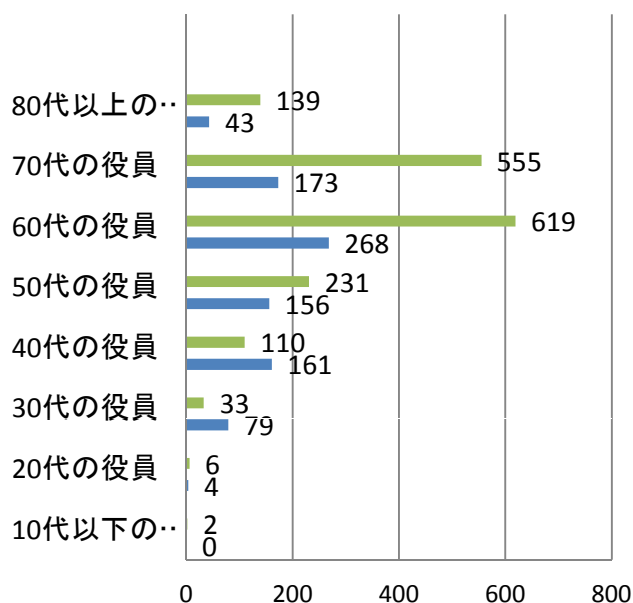
### 質問1-① 役員の性別×年齢別の構成比率

(有効回答 327自治会) ※上段=記入人数の合計(人)、下段=対全体の構成比率(%)

	全 体	10代以 下の役 員	20代の 役員	30代の 役員	40代の 役員	50代の 役員	60代の 役員	70代の 役員	80代以 上の役 員
男女計	2579 100%	2 0%	10 0%	112 4%	271 11%	387 15%	887 35%	728 28%	182 7%
男性役員	1695 100%	2 0%	6 0%	33 2%	110 6%	231 14%	619 37%	555 33%	139 8%
女性役員	884 100%	0 0%	4 0%	79 9%	161 18%	156 18%	268 30%	173 20%	43 5%



年齢別男女比 ■ 男性役員  
■ 女性役員



#### 【分析】

役員の割合は、男女とも60代の割合が最も多く、次いで70代が多かった。一方50代以下のいわゆる現役世代については、少ない結果となった。男女の比率については、全体総数で比較すると、男性が女性のおおよそ2倍の役員数であった。

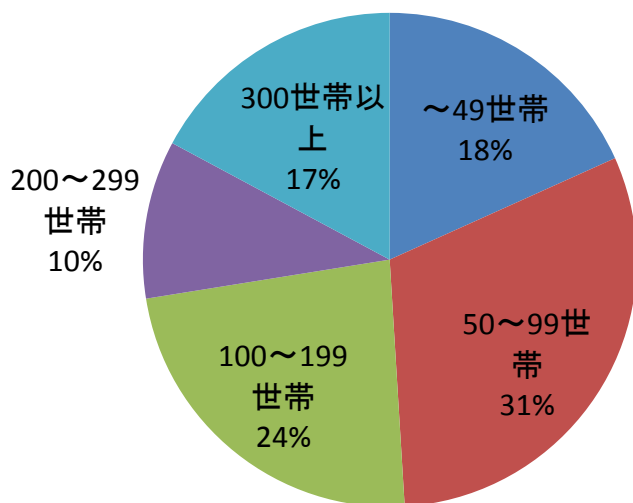
60歳以上の男女合計の役員数は、1,797人で全体の約70%を占め、高齢化、後継者不足を如実にあらわしている。

質問1-② 世帯数の分布

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	～49世帯	50～99世帯	100～199世帯	200～299世帯	300世帯以上
全体結果	367 100%	67 18%	113 31%	86 24%	38 10%	63 17%

世帯数の分布



【分 析】

「50～99世帯」の区分が最も多い結果となった。マンション自治会や郊外住宅地自治会など「300世帯以上」の大規模自治会が17%、一方、新潟島地区の一部を中心とした小規模自治会も18%という結果となり、全体的に大きな偏りはなかった。中央区内でも地域により、多様な規模の自治会・町内会があることがわかった。

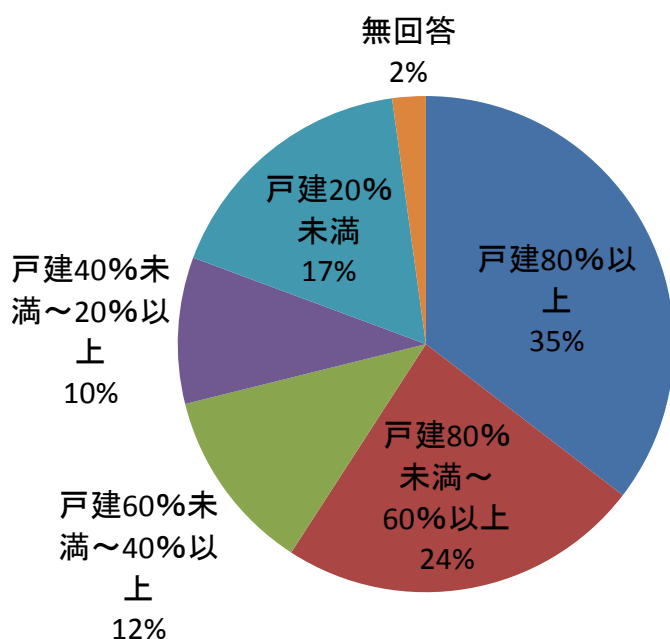
100世帯未満の自治会が全体の約半数を占めており、人員確保など自治会運営そのものが危惧される結果となった。

質問1-③ 戸建住宅と集合住宅の比率

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	戸建 80%以上	戸建 80%未 満～ 60%以上	戸建 60%未 満～ 40%以上	戸建 40%未 満～ 20%以上	戸建 20%未 満	無回答
全体結果	367 100%	130 35%	87 24%	44 12%	35 10%	63 17%	8 2%

戸建住宅と集合住宅の比率



【分 析】

「戸建80%以上」の割合が35%と最も高い結果となった。戸建20%未満の中には、戸建住宅がまったくないマンション自治会も多くあり、中央区の特性といえる。

また、戸建住宅が20%～60%未満の割合が全体の約半数を占め、住宅の混在率が高く、コミュニケーション作りに苦慮していることが予想される。

**質問2** あなたの自治会・町内会は、現在、以下の(1)～(10)の活動に取り組んでいますか。

質問2では、超高齢・人口減少社会において必要と考えられる「支援活動」または「交流活動」のうち、あなたの自治会・町内会が単独で行っている活動について、お聞きしました。

設問の不備・説明不足により、回答の取り違え等が見られたことから、原集計を基に内容を分析し、再集計を行いました。

**(1)ごみ捨て支援への取り組み状況**

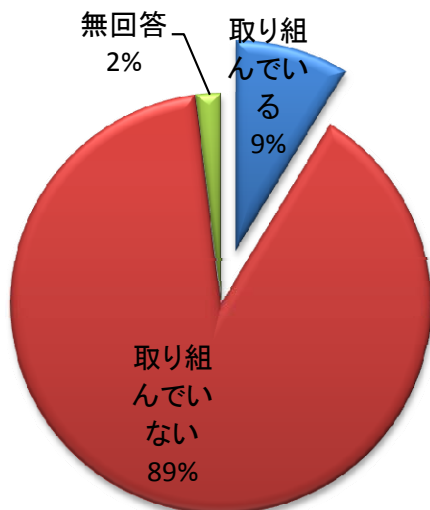
(上段=実数/下段=割合)

	全 体	取り組 んでいる	取り組 んでい ない	無回答
全体結果	367 100%	32 9%	328 89%	7 2%

**【再集計のポイント】**

○ゴミステーションへ自らごみを出すことが困難な住民に対して自治会としてどのような取り組みをしているか。

⇒ ゴミステーションの管理などについての取り組みは、「取り組んでいない」としました。



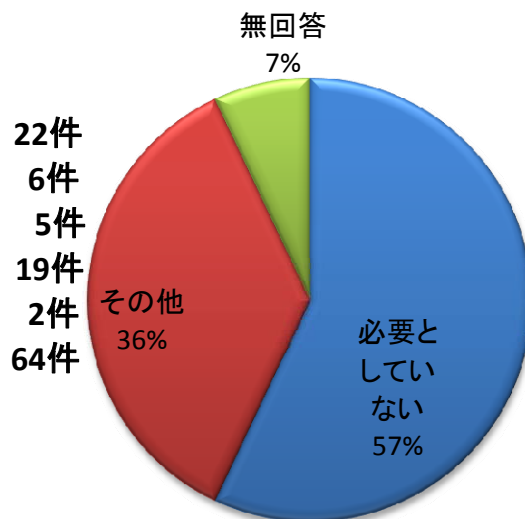
- ① 市の事業に準じ担当者を決めて実施 23件
- ② 民生委員、役員等で共同で実施 3件
- ③ 班(両隣、近所など)などで実施 3件
- ④ 要請に応じて随時対応している、その他 3件

(1)-2 ごみ捨て支援に取り組んでいない理由

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	必要と してい ない	その他	無回答
全体結果	328 100%	187 57%	118 36%	23 7%

- ① 自治会としては実施していないが、隣人・親戚・役員・民生委員・ヘルパーが対応
- ② 要支援者の調査未実施又は支援を検討中
- ③ 自治会で余力がなく対応出来ない
- ④ 要請がない、断られた
- ⑤ その他
- ⑥ ゴミステーション事業として回答



【分 析】

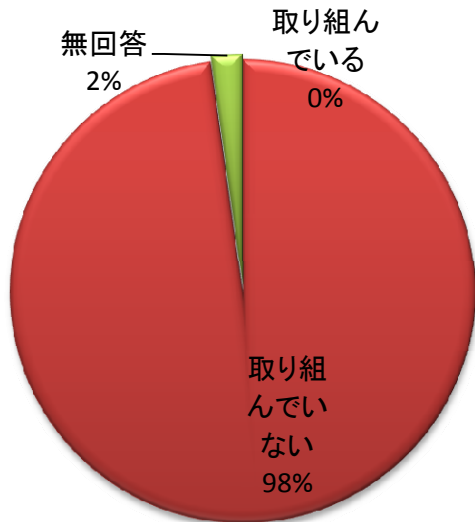
本来のごみ捨て支援事業としての取り組み自治会は少なかった。また、ゴミステーション関係の回答をいただいた自治会も多かった。今後一層の啓発活動が必要と思われる。



## (2) 買い物支援への取り組み状況

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	取り組 んでいる	取り組 んでい ない	無回答
全体結果	367 100%	0 0%	359 98%	8 2%



### 【再集計のポイント】

○自ら出かけて買物をするのが困難な住民に対して自治会としてどのような取り組みをしているか。

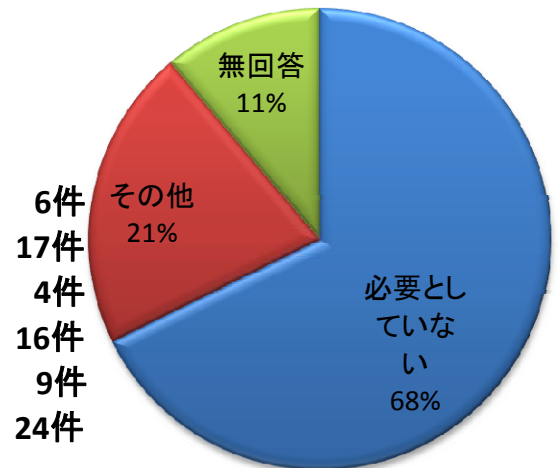
⇒ コミュニティ協議会やその他団体による買物支援事業については、自治会単独で行っていないため、「取り組んでいない」としました。

### (2)-2 買い物支援に取り組んでいない理由

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	必要と してい ない	その他	無回答
全体結果	359 100%	243 68%	76 21%	40 11%

- ① コミュニティ協議会が支援
- ② 隣人・近所・親戚・民生委員・ヘルパーが支援
- ③ 個人で業者などに依頼
- ④ 実態を把握していない
- ⑤ 協力できる人員の確保・体制づくりが出来ない
- ⑥ 要望がない



### 【分 析】

自治会・町内会単独での取り組みはないが、コミュニティ協議会など、より大きな組織の単位での取り組みがみられた。「要望がない」または「必要がない」とする回答の総数が266件(74.3%)と多数となっている。

### (3) 見守り活動への取り組み状況

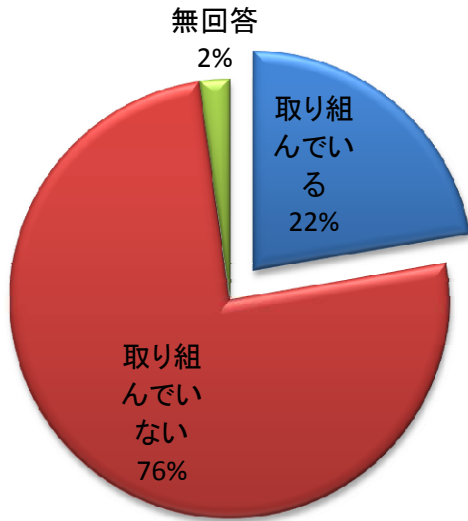
(上段=実数/下段=割合)

	全 体	取り組 んでいる	取り組 んでい ない	無回答
全体結果	367 100%	82 22%	277 76%	8 2%

#### 【再集計のポイント】

○見守りが必要な高齢者や障がいのあ  
る方などに対して自治会としてど  
のような取り組みをしているか。

⇒ 民生委員による見守り(友愛活  
動)やコミュニティ協議会やその他団体  
による見守り事業については、自治会  
単独で行っていないため、「取り組んで  
いない」としました。



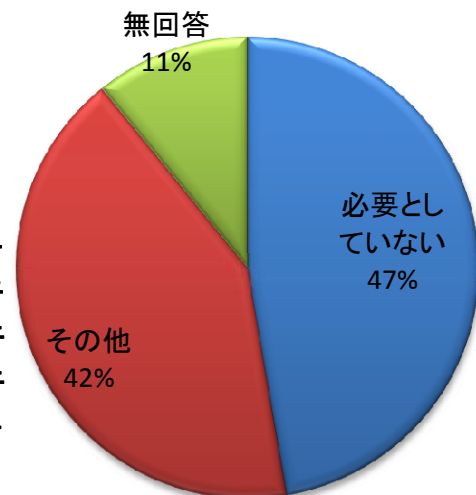
- |                   |     |
|-------------------|-----|
| ① 自治会として隣人・近所が対応  | 16件 |
| ② 自治会の会長・役員・班長で対応 | 33件 |
| ③ 個別に担当者を決めて対応    | 3件  |
| ④ その他             | 29件 |

### (3)-2 見守り活動に取り組んでいない理由

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	必要と してい ない	その他	無回答
全体結果	277 100%	131 47%	116 42%	30 11%

- |                     |     |
|---------------------|-----|
| ① コミュニティ協議会が対応      | 7件  |
| ② 隣人・近所・親戚・ヘルパー等が対応 | 10件 |
| ③ 民生委員が対応           | 48件 |
| ④ 余力なし              | 12件 |
| ⑤ 要望なし              | 10件 |
| ⑥ その他               | 20件 |
| ⑦ 子どもの見守りはしている      | 9件  |



#### 【分 析】

自治会・町内会で、見守り活動に取り組んでいるのは、82件であった。  
また、今回「取り組んでいない」と回答した中にも、民生委員、コミュニティ協議会、親戚等  
実施しているところも多くあった。

#### (4) 災害時要援護者支援への取り組み状況

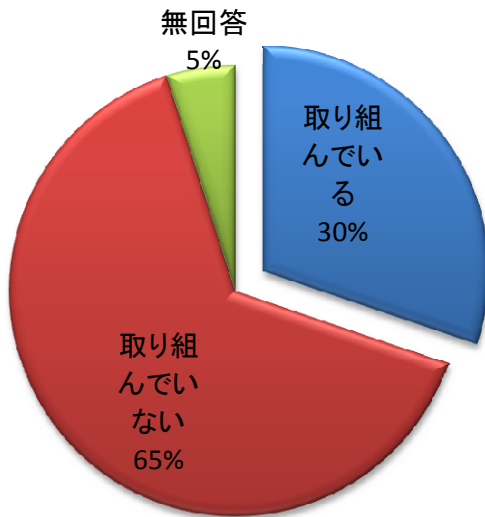
(上段=実数/下段=割合)

	全 体	取り組 んでいる	取り組 んでい ない	無回答
全体結果	367 100%	111 30%	238 65%	18 5%

#### 【再集計のポイント】

○災害時において支援が必要な高齢者や障がいのある方などに対して自治会としてどのような取り組みをしているか。

⇒ 民生委員による訪問やコミュニティ協議会として取り組んでいるものについては、自治会単独で行っていないため、「取り組んでいない」としました。



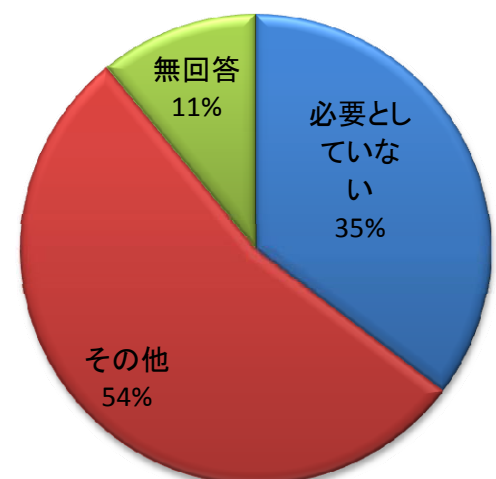
- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| ① 班長役員等が民生委員や近隣などと連携している | 58件 |
| ② 名簿を作成し、定期的に声掛けや訪問をしている | 20件 |
| ③ 自主防災会等で訓練している          | 4件  |
| ④ その他                    | 18件 |

#### (4) - 2 災害時要援護者支援に取り組んでいない理由

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	必要と して いない	その他	無回答
全体結果	238 100%	84 35%	128 54%	26 11%

- |                     |     |
|---------------------|-----|
| ① コミュニティ協議会が行っている   | 4件  |
| ② 民生委員を中心として訪問している  | 10件 |
| ③ 準備または検討中          | 50件 |
| ④ プライバシーがあり、要支援者が不明 | 10件 |
| ⑤ 人手がない             | 9件  |
| ⑥ その他               | 43件 |



#### 【分 析】

班長役員等が中心となり、民生委員や近隣住民と連携し取り組んでいるという回答の割合が多かった。取り組んでいないというなかでも、現在準備や検討を進めている自治会もあったが、プライバシーの問題が支障となっているところも見てとれる。

## (5) 戸別訪問による古紙回収への取り組み状況

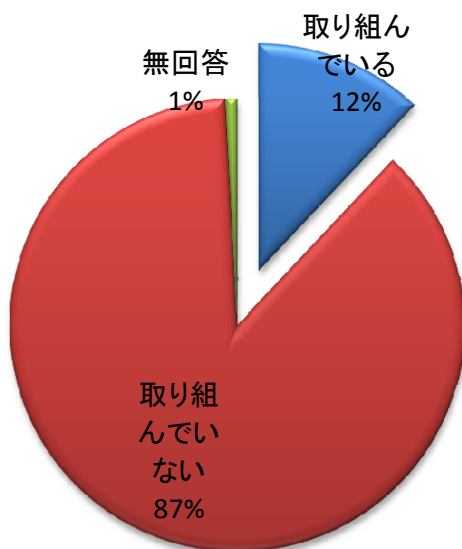
(上段=実数/下段=割合)

	全 体	取り組 んでいる	取り組 んでい ない	無回答
全体結果	367 100%	44 12%	320 87%	3 1%

### 【再集計のポイント】

○古紙回収の集積場所まで持ち込みが困難な高齢者や障がいのある方などに対して行う戸別訪問を自治会としてどのように取り組んでいるか。

⇒ 支援が必要な方に対してのみ行っている取り組みのみ抽出し、地域の全世帯を対象に戸別回収を行っているものについては、「取り組んでいない」としました。



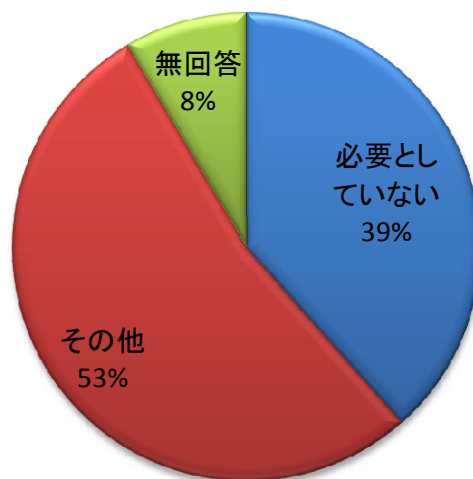
- |                   |     |
|-------------------|-----|
| ① 月・週・日などを決めて一斉に  | 20件 |
| ② 要援助の人の担当を決めている  | 4件  |
| ③ 依頼を受けた場合など必要に応じ | 4件  |
| ④ 役員が回収           | 3件  |
| ⑤ 子ども会や老人会が回収     | 8件  |
| ⑥ その他             | 1件  |

## (5)-2 戸別訪問による古紙回収に取り組んでいない理由

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	必要と して いない	その他	無回答
全体結果	320 100%	123 39%	170 53%	27 8%

- |                    |      |
|--------------------|------|
| ① 業者に依頼している(全世帯対象) | 119件 |
| ② 施設(福祉作業所)        | 1件   |
| ③ マンションが独自に        | 4件   |
| ④ 人手がない            | 4件   |
| ⑤ 市の回収日に           | 38件  |



### 【分 析】

支援が必要な方に対して戸別に訪問し、古紙を回収する取り組みを自治会・町内会で行っているところは、少なかった。

## (6) 除雪作業のお手伝いへの取り組み状況

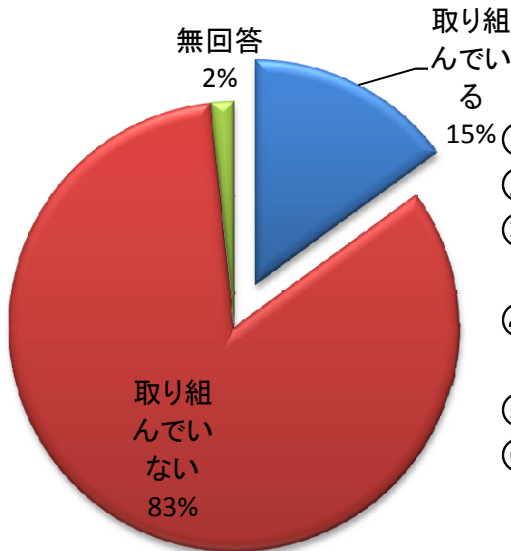
(上段=実数/下段=割合)

	全 体	取り組 んでいる	取り組 んでい ない	無回答
全体結果	367 100%	55 15%	306 83%	6 2%

### 【再集計のポイント】

○高齢者や障がいのある方など家まわりの除雪に支援が必要な方に対して、自治会としてどのように取り組んでいるか。

⇒ 自治会組織として役割を決めて行っている取り組みを抽出し、自主的なものや善意で行っているものについては、「取り組んでいない」としました。



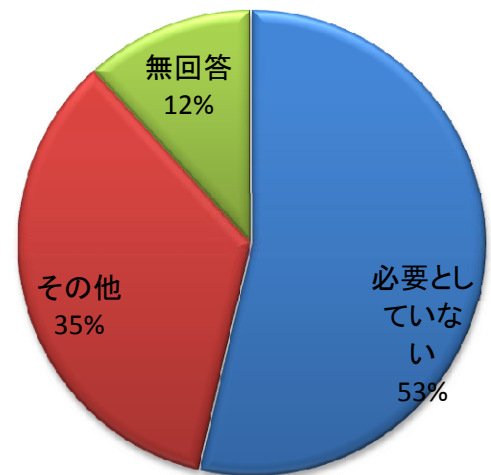
- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| ① 高齢者宅・独居老人宅・介護施設等の除雪    | 13件 |
| ② 除雪隊の組織を作って除雪           | 12件 |
| ③ 会長・役員の声かけで、都合のつく人による除雪 | 12件 |
| ④ 歩道・通学路を主にシヨベル・小型除雪機で除雪 | 8件  |
| ⑤ 各班長を中心に班別による除雪         | 3件  |
| ⑥ その他(ひとかき運動 融雪剤の用意等)    | 3件  |

## (6) - 2 除雪作業のお手伝いに取り組んでいない理由

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	必要と してい ない	その他	無回答
全体結果	306 100%	164 53%	106 35%	36 12%

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ① 各自が自主的に行っている                  | 46件 |
| ② 班毎に自主的に行っている                  | 9件  |
| ③ 業者に依頼                         | 10件 |
| ④ 高齢者やその他の理由でやる人がいない            | 8件  |
| ⑤ 要望なし                          | 18件 |
| ⑥ その他(コミ協事業に参加, ボランティア, これから検討) | 9件  |



### 【分 析】

15%の自治会・町内会で取り組みがあった。新潟市から除雪機の貸与をうけ、歩道、通学路の除雪や高齢者世帯への協力など、自治会・町内会で組織を作って、また班ごとに声を掛け合って除雪作業が行われている様に思われる。取り組んでいない83%のうち、53%は必要としないと回答があった。必要がないという内容については、各世帯が自主的に家の前を除雪することで間に合っている、高齢者が多くてできない、特に要望がない等があった。中央区では、比較的積雪量が少なく除雪には余り困っていなかったのではと思われる。また、高齢者・高齢者世帯など困っている世帯に隣近所で声を掛け合い自主的に手助けしている様子もみられた。

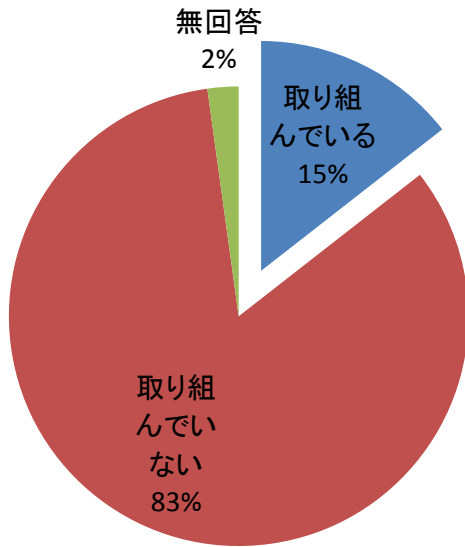
(7)地域の茶の間への取り組み状況

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	取り組 んでいる	取り組 んでい ない	無回答
全体結果	367 100%	53 15%	306 83%	8 2%

【再集計のポイント】

○自治会単独で取り組んでいるか。  
⇒ コミュニティ協議会や民生委員が  
主となり取り組んでいるものについて  
は、自治会単独で行っていないため、  
「取り組んでいない」としました。



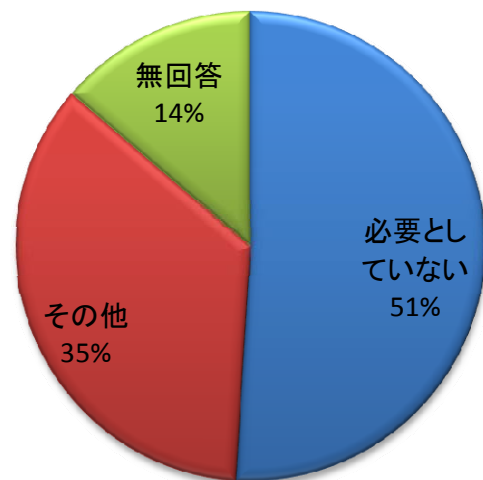
- |         |     |
|---------|-----|
| ① 月1～2回 | 36件 |
| ② 年数回   | 2件  |
| ③ その他   | 12件 |

(7)-2 地域の茶の間に取り組んでいない理由

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	必要と してい ない	その他	無回答
全体結果	306 100%	156 51%	108 35%	42 14%

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| ① コミュニティ協議会が行っている | 24件 |
| ② 民生委員が行っている      | 7件  |
| ③ 今後予定している        | 7件  |
| ④ 場所がない           | 23件 |
| ⑤ 費用がない           | 2件  |
| ⑥ スタッフがいない        | 6件  |
| ⑦ その他             | 37件 |



【分 析】

自治会・町内会が単独で取り組んでいるところは全体の15%と少なかったが、コミュニティ協議会や民生委員の事業などで行われているものに地域住民が参加しているという回答が多かった。場所、費用の面や、参加者の数など自治会・町内会単独では、難しい一面があることが見てとれる。

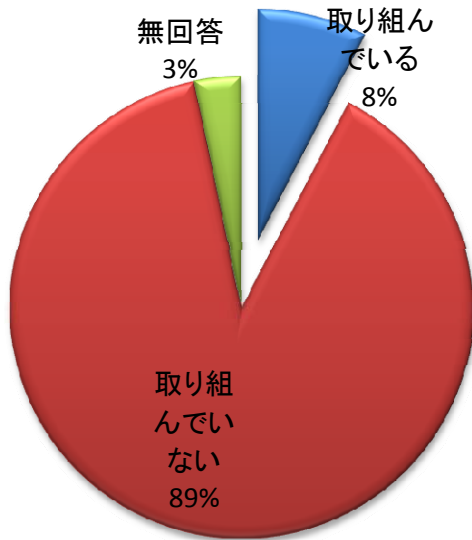
**(8)健康づくりへの取り組み状況**

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	取り組 んでいる	取り組 んでい ない	無回答
全体結果	367 100%	28 8%	327 89%	12 3%

**【再集計のポイント】**

○自治会単独で取り組んでいるか。  
 ⇒ コミュニティ協議会や民生委員が  
 主となり取り組んでいるものについて  
 は、自治会単独で行っていないため、  
 「取り組んでいない」としました。



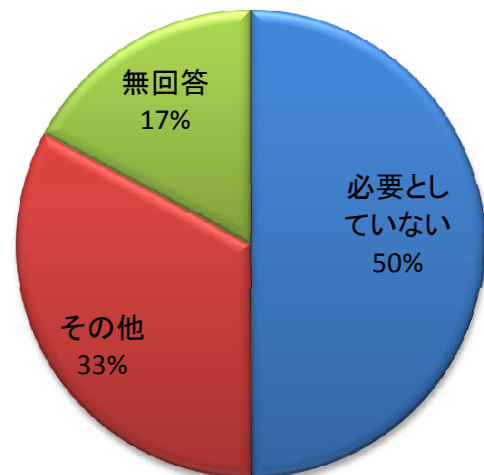
- |                |    |
|----------------|----|
| ① ラジオ体操        | 9件 |
| ② 健康管理(健康相談など) | 6件 |
| ③ 講演会          | 7件 |
| ④ その他          | 6件 |

**(8)-2 健康づくりに取り組んでいない理由**

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	必要と してい ない	その他	無回答
全体結果	327 100%	163 50%	108 33%	56 17%

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| ① コミュニティ協議会が行っている | 31件 |
| ② 各自で取り組んでいる      | 21件 |
| ③ 指導者がいない         | 7件  |
| ④ 費用がない           | 2件  |
| ⑤ その他             | 41件 |



**【分 析】**

本問についても設問2(7)と同様、自治会・町内会単独で取り組んでいる割合は8%と少なく、コミュニティ協議会で行われる事業に住民が参加しているとの回答が多かった。また、中には現在検討中であるという回答もあり、高齢化社会において、元気に長生きをするための対策を各自で模索している様子もみられた。

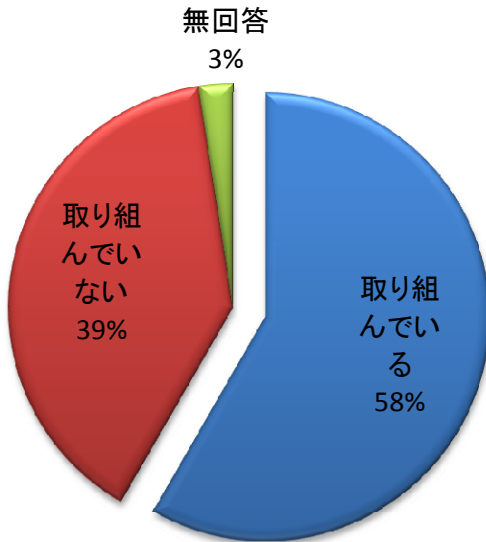
**(9) 住民の関係づくりのためのイベントへの取り組み状況**

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	取り組 んでいる	取り組 んでい ない	無回答
全体結果	367 100%	214 58%	144 39%	9 3%

**【再集計のポイント】**

○自治会単独で取り組んでいるか。  
⇒ コミュニティ協議会や民生委員が  
主となり取り組んでいるものについて  
は、自治会単独で行っていないため、  
「取り組んでいない」としました。



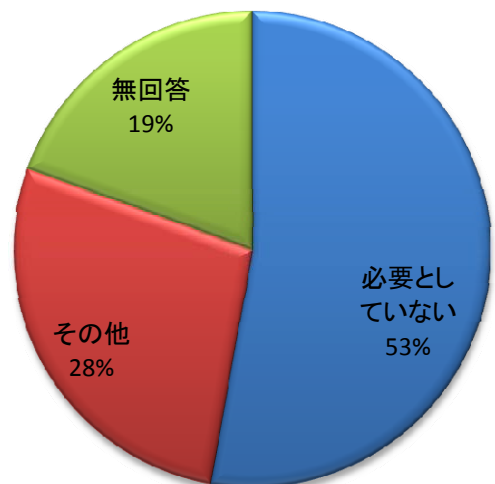
- ① 会議及び会議後の懇親・懇談会  
(総会・役員会・班長会等) 32件
- ② 部会活動及び小単位での活動  
(敬老会・老人会・婦人部等) 16件
- ③ 旅行・忘新年会を実施 55件
- ④ 季節毎にイベントを実施  
(春:花見・夏:納涼会、BBQ、花火、盆踊り、  
秋冬:運動会、イモ煮、もちつき等) 71件
- ⑤ 環境運動の実施  
(町内・公園・下水道の清掃及び剪定・草取り等) 16件
- ⑥ 地域の行事及び祭事等を共同で実施  
(商店街、神社、コミ協等) 15件
- ⑦ 子ども達の行事を通して 9件

**(9)-2 住民の関係づくりのためのイベントに取り組んでいない理由**

(上段=実数/下段=割合)

	全 体	必要と してい ない	その他	無回答
全体結果	144 100%	76 53%	40 28%	28 19%

- ① 地域の行事に参加(商店街、コミ協等) 8件
- ② 取り組みについて検討中 5件
- ③ 協力者なし、予算なし 9件
- ④ 参加者がいない、参加者が限られて  
現在は取り組んでいない 6件
- ⑤ 自治会行事に無関心、  
人の世話になりたくない 4件
- ⑥ その他 8件



**【分 析】**

多くの自治会が色々なイベントに取り組み、住民との関係づくりに努力している。反面自治会に無関心、協力者もいない、参加者もないと回答した自治会も多い。

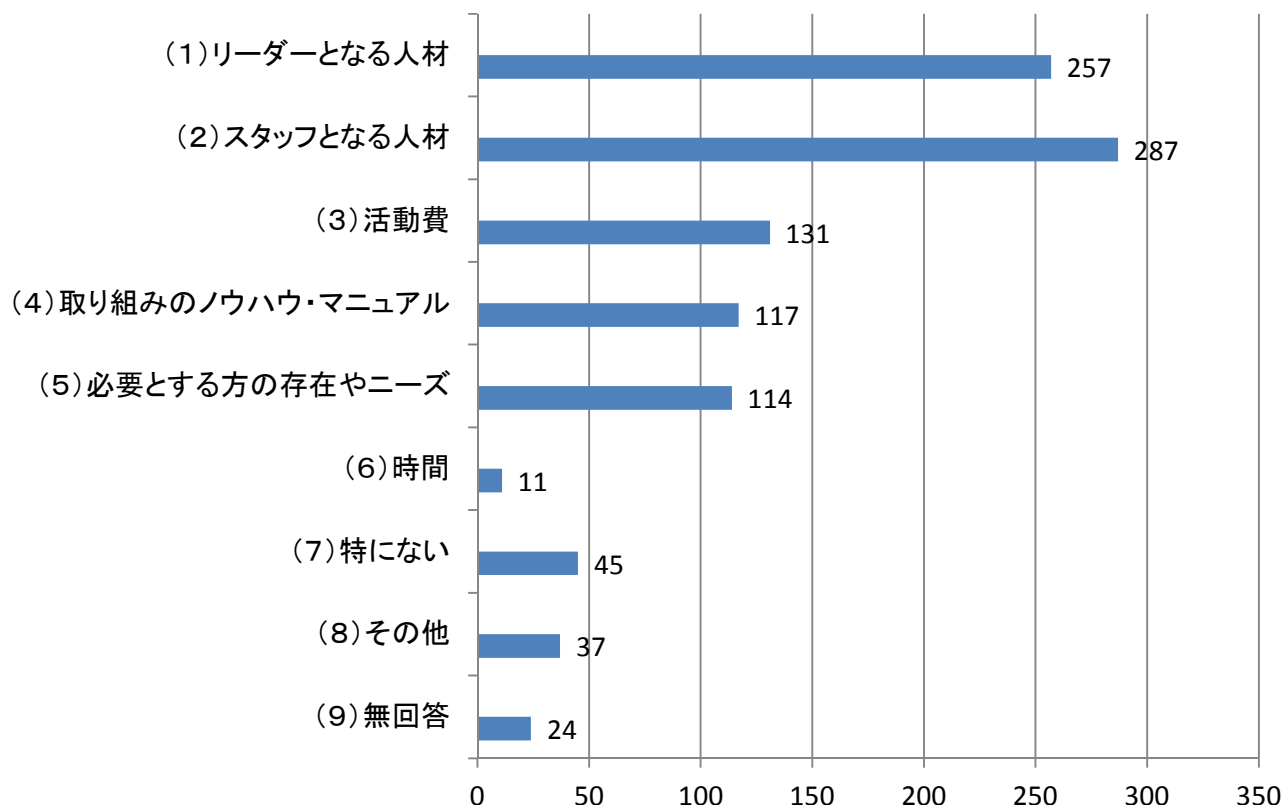
今後、高齢化が増々進み、単一自治会でのイベント実施が難しくなると思われる。



## (10)上記のほか、取り組んでいること

上記(1)～(9)の活動のほか、「地域の夜回り」、「祝い金の配布」や「募金活動」などもありました。

**質問3** 今後、超高齢・人口減少に関わる対応や「日常的な関係づくり」に関する取り組みを行う場合に、特に必要なことは何ですか。(複数回答)



### 【分析】

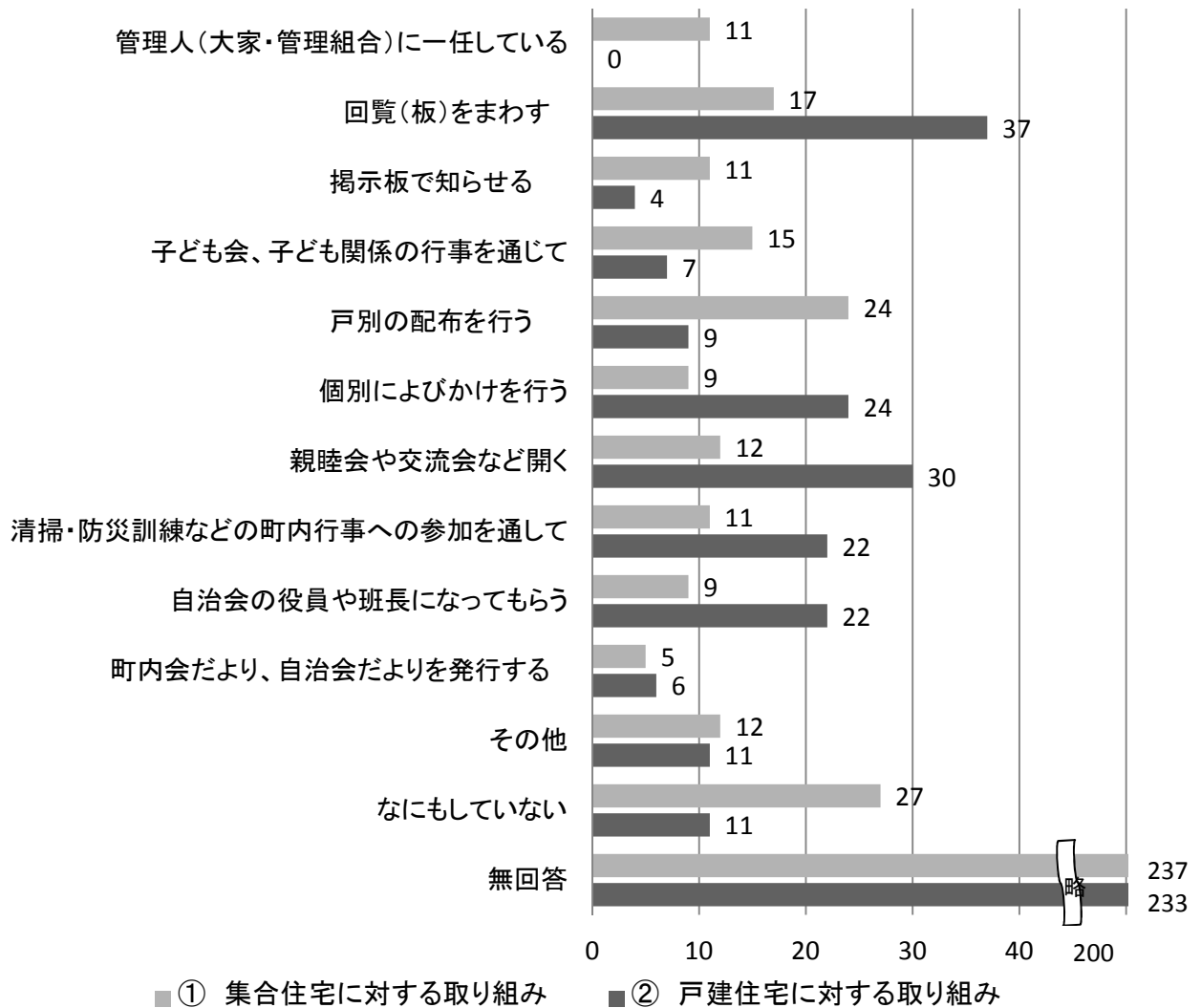
人材(リーダー及びスタッフ)の必要性は、7割を超える結果となった。

取り組みのノウハウ・マニュアルとの回答では、どのように活動したらよいか模索している実情も感じられる。それに反して、必要とする方の存在やニーズを挙げている意見もあり、地域全体の把握に苦慮している現状も読み取れる。

どのような時間が必要かについては、打ち合わせの時間やスタッフの取り組み時間などの回答があった。

そのほか、少数ではあるが、具体的な意見として、住民意識作り、あいさつ運動、声かけを挙げる自治会・町内会があり、まさに「日常的な関係づくり」が根底にあり、その上に立って、具体的な活動に繋がっていくと思われる。

**質問4** 現役世代や若者に対し、地域活動や自治会・町内会活動に関心を持ってもらう取り組みや参加の工夫をしていますか。している場合は、その取り組みや工夫の内容を下記の①、②に記入してください



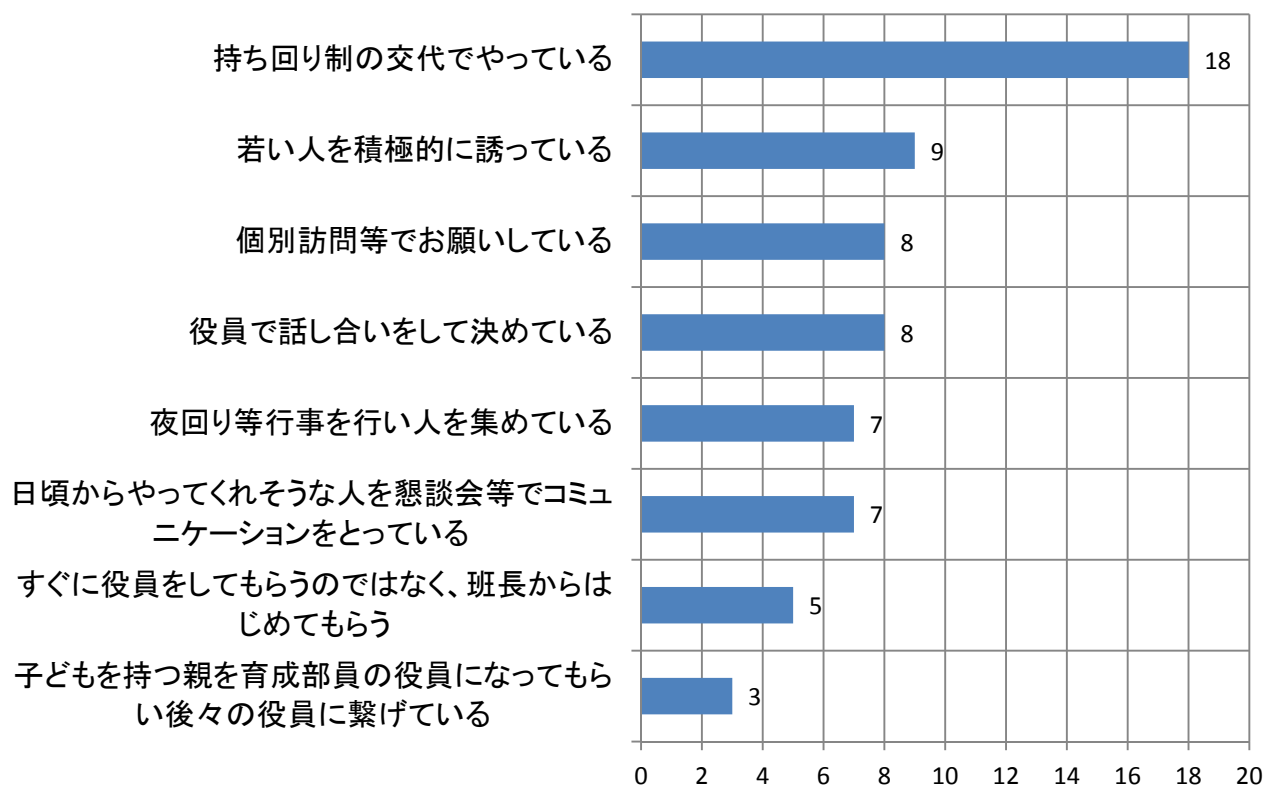
**【分 析】**

集合住宅に対しては、回覧等いろいろな手段を利用して関心を持ってもらうように努力している。しかし、集合住宅の中での関係性が希薄なこと(都市化)が、感じられる。

戸建住宅については、回覧を手渡して、回すことにより、ソフトな見守りも行っているところもある。

また、親睦会や交流会を実施して、関心を持ってもらうように努力しているとの回答もあった。

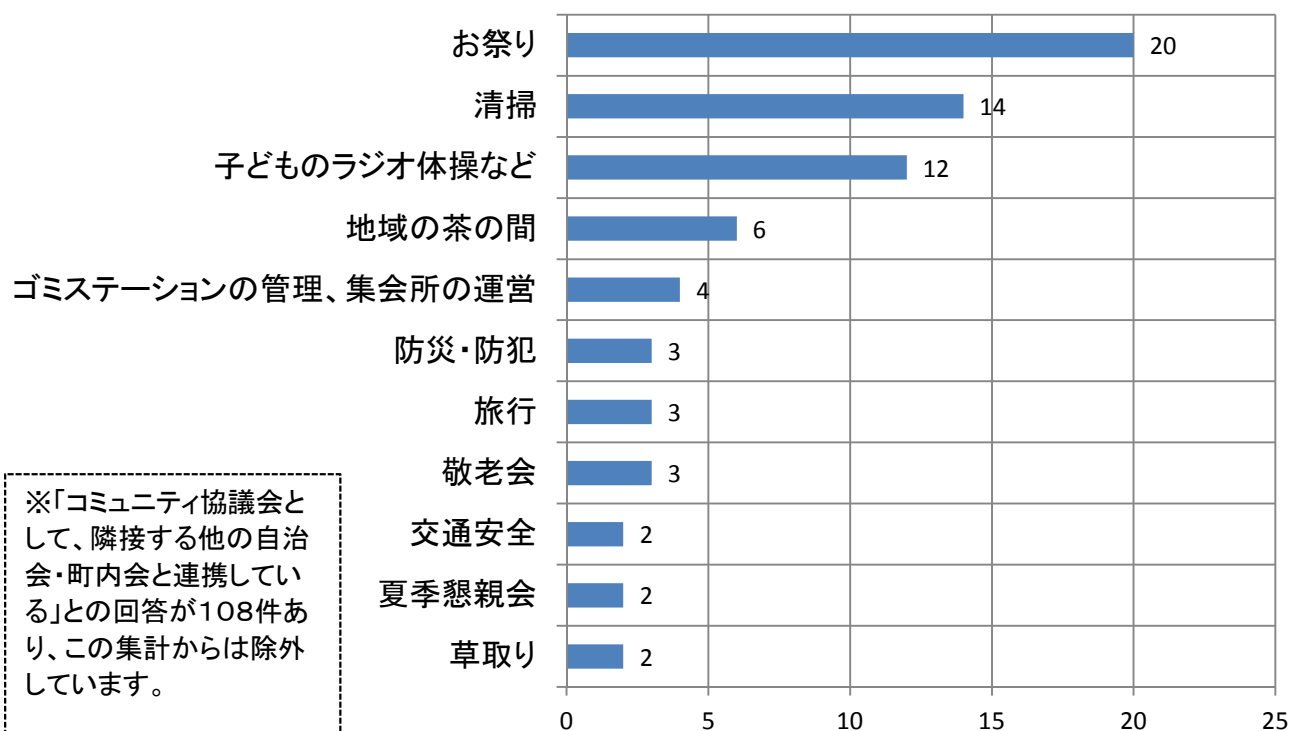
質問5 自治会・町内会活動を担う後継者を確保する・育成する取り組みはありますか。ある場合は、その取り組みの内容を記入してください。



【分析】

質問3において、特に人材（リーダー、スタッフ）が必要との回答が多くあったが、その人材確保するための後継者の確保・育成のための取り組みについては、回答数は少なかった。その中でも工夫し取り組んでいる自治会・町内会は、役員などを持ち回りの交代制にしたり、イベント等を通して若い人を積極的に誘い、交流を深め、将来の担い手の育成を行っている。

質問6 あなたの自治会・町内会では、隣接する他の自治会・町内会と協力して活動することはありますか。ある場合は、その内容を記入してください。



【分析】

質問2(7)～(9)の自治会・町内会の住民相互の交流を深める活動(地域の茶の間、ラジオ体操、イベント)は、近隣の複数の自治会が連携・協力して行っていることがわかった。さらに事業規模が大きな取り組みなどについては、コミュニティ協議会として取り組み、人材、費用、スタッフなどを有効に活用しているものと思われる。高齢化に加え、人口がますます減少していく中で、限られた資源を如何に活用していくかが、喫緊の課題である。

## 【ご意見など】

お聞きした質問のほか、あなたの自治会・町内会の取り組みや工夫、その他ご意見などありましたら、お聞かせください。

主なご意見は、以下のとおりです。

(なお、質問1～6の回答と重複しているものについては、割愛いたしました。)

- ・ 行政等により依頼の案件、配布文書が多すぎ負担である
- ・ 高齢化や世帯の減少により、将来は自治会・町内会の合併が必要である
- ・ 活動の拠点が必要である
- ・ 寄付の要請が多い・集め方が問題である
- ・ 空き家・空き地問題で困っている。
- ・ 学校統合による空校舎を若者向け住居にしてはどうか
- ・ 町内活動を工夫している事例を紹介して欲しい。
- ・ アンケート回答の回収までの期間が短い。

地域コミュニティの役割に関する市の制度や自治会運営のご意見につきましては、来年度以降の提案事業に活かしていけるように検討を進めていきたいと思いをします。

## 【総括】

### (1)分析の総括

自治会・町内会が取り組んでいる活動の数は、世帯数や役員数と関係しており、4つ以上取り組んでいる自治会・町内会は、平均300世帯以上の大規模自治会であり、役員数も11名以上いる。特に、「災害時要援護者支援」、「除雪作業の手伝い」、「地域の茶の間」、「健康づくり」及び「住民の関係づくりのイベント」の5つの活動において、町内の世帯数や役員数による差がみられた。

このうち「住民の関係づくりのイベント」については、多くの自治会・町内会で取り組んでおり、活動の数が少ない自治会・町内会であってもイベントは開催しているという回答が多くみられ、大小様々なイベントを通して、交流を図っている。

自治会・町内会が取り組んでいる活動の数については、戸建住宅の割合との関連はみられず、自治会・町内会が組織としての活動を行うには、住居の形態よりも、「ある程度の大きさの組織であること、役員の数を確認できること」が重要だということがいえる。

しかしながら、超高齢化・人口減少社会を迎え、組織の維持や役員の確保などは、非常に困難なものとなっている。

### (2)まとめ

多くの自治会・町内会が問題を抱えながらも、色々な行事に取り組み、会員相互のコミュニケーション作りに努力されている。

日頃からのあいさつ運動や声かけなどといった「日常的な関係づくり」が基礎となり、その上で具体的な取り組み、活動に広がるものと思われる。

しかしながら、いわゆる「ヒト・モノ・カネ」の不足により、自治会単独での活動が難しくなっている。また地域で抱える様々な課題に直面し、単一の自治会では解決できず、隣接する自治会と協力して行っているところもある。

今後は、自治会・町内会として取り組むべき事と、コミュニティ協議会として取り組むべき事とのすみ分けなどの整理が急務である。

自治会・町内会の役員の高齢化・後継者不足の問題についてであるが、今回の調査でも、役員の多くが60歳以上であり、高齢化が顕著である。また、役員の成り手がいないという回答が多く寄せられた。

現在の社会情勢の中では、自治会・町内会の役員に若い世代を期待するのは、いささか困難であるように思う。まずは、現役を引退されたばかりの世代の協力を得る取り組みが必要である。また、役員は、次世代の人材にいつでも引き継げるように、日頃から地域とのコミュニケーションを図り、自治会・町内会の活動にご尽力いただきたいと思う。

## 【おわりに】

安心して暮らせる地域を実現することへの取り組みは、超高齢化社会の重要な課題です。

中央区自治協議会「人にやさしい暮らしのまち部会」では、地域コミュニティの基本である自治会・町内会の課題解決に向けて、どのような取り組みが必要となるのか、調査、研究を重ねてきました。

今回の調査結果を基礎資料として、今後は、各自治会・町内会の問題解決や活動の参考になるよう活動事例の発信など、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

なお、中央区513団体の自治会・町内会の会長様には、今回いただいた調査結果をお届けさせていただきます。

最後に、お忙しい中アンケートにご協力くださった自治会・町内会会長様に重ねて感謝申し上げます。

**【付録】**  
**調査様式**



**超高齢・人口減少社会における自治会・町内会の役割に関する調査 調査票**

新潟市中央区自治協議会 「人にやさしい暮らしのまち部会」  
座長 中村 昌雄

■はじめに

超高齢・人口減少社会の到来を迎え、さまざまな地域課題の解決は行政や企業だけで対応するのではなく、地域コミュニティの基本である自治会や町内会で担う役割が求められ、これまで以上に高まると言われています。

中央区自治協議会・人にやさしい暮らしのまち部会では、自治会や町内会で「地域内における日常的な関係づくり」を行うことを通じて、暮らしを支え非常時に備えることが役割であると考えます。

そこで、自治会・町内会の会長のみなさまに超高齢・人口減少に関わる対応や「日常的な関係づくり」に関する取り組みについてお伺いします。

自治会・町内会名	
記入者ご氏名	
ご連絡先（電話番号）	
※取り組み事例などを後日詳しくお聞きする場合があります。 ご協力をお願いできますか。（あてはまる口にチェック印を付けてください） <input type="checkbox"/> 協力できる <input type="checkbox"/> 協力できない	

質問1

あなたの自治会・町内会についてお聞きします。①～③すべてにご回答ください。

（平成26年10月1日現在の状況でご記入ください。）

① 自治会・町内会の役員（執行部のみ、班長・組長は除く。）について、性別、年齢別に人数を記入してください。

年齢 性別	10代 以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	合計 (人)
男性									
女性									

② 世帯数 \_\_\_\_\_ 世帯

③ あなたの自治会・町内会において、戸建住宅と集合住宅の割合はどの程度でしょうか。

（記載例 戸建住宅 70% 集合住宅 30%）

戸建住宅 \_\_\_\_\_% 集合住宅 \_\_\_\_\_%

## 質問2

あなたの自治会・町内会は、現在、以下の(1)～(10)の活動に取り組んでいますか。  
あてはまる口にチェック印を付けてください。

取り組んでいる場合は、どのように取り組んでいるかを記入してください。

取り組んでいない場合は、理由のあてはまる口にチェックを付け、その他は具体的に理由を記入してください。

### (1) ごみ捨て支援

- 取り組んでいる ⇒ どのように( )  
 取り組んでいない ⇒ (理由) 必要としていない その他( )

### (2) 買い物支援

- 取り組んでいる ⇒ どのように( )  
 取り組んでいない ⇒ (理由) 必要としていない その他( )

### (3) 見守り活動

- 取り組んでいる ⇒ どのように( )  
 取り組んでいない ⇒ (理由) 必要としていない その他( )

### (4) 災害時要援護者支援

- 取り組んでいる ⇒ どのように( )  
 取り組んでいない ⇒ (理由) 必要としていない その他( )

### (5) 戸別訪問による古紙回収

- 取り組んでいる ⇒ どのように( )  
 取り組んでいない ⇒ (理由) 必要としていない その他( )

### (6) 除雪作業のお手伝い

- 取り組んでいる ⇒ どのように( )  
 取り組んでいない ⇒ (理由) 必要としていない その他( )

### (7) 地域の茶の間

- 取り組んでいる ⇒ どのように( )  
 取り組んでいない ⇒ (理由) 必要としていない その他( )

### (8) 健康づくり

- 取り組んでいる ⇒ どのように( )  
 取り組んでいない ⇒ (理由) 必要としていない その他( )

### (9) 住民の関係づくりのためのイベント

- 取り組んでいる ⇒ どのように( )  
 取り組んでいない ⇒ (理由) 必要としていない その他( )

(10) その他 ⇒ 上記のほか、取り組んでいることがありましたら、ご記入ください。

(活動名:

**質問3**

今後、超高齢・人口減少に関わる対応や「日常的な関係づくり」に関する取り組みを行う場合に、特に必要なことは何ですか？（複数回答可）

あてはまるものの数字に○を付けてください。

- (1) リーダーとなる人材
- (2) スタッフとなる人材
- (3) 活動費
- (4) 取り組みのノウハウ・マニュアル
- (5) 必要とする方の存在やニーズ
- (6) 時間 →(何の時間が必要ですか, 具体的にご記入ください) )
- (7) 特にない
- (8) その他→(具体的にご記入ください) )

※下記の質問4から質問6までは、該当がある場合に記入してください。

**質問4**

現役世代や若者に対し、地域活動や自治会・町内会活動に関心を持ってもらう取り組みや参加の工夫をしていますか。している場合は、その取り組みや工夫の内容を下記の①, ②に記入してください。

① 集合住宅の住民に対してはどのようにしていますか。

[ ]

② 戸建住宅の住民に対してはどのようにしていますか。

[ ]

**質問5**

自治会・町内会活動を担う後継者を確保する・育成する取り組みはありますか。ある場合は、その取り組みの内容を記入してください。

[ ]

**質問6**

あなたの自治会・町内会では、隣接する他の自治会・町内会と協力して活動することはありますか。ある場合は、その内容を記入してください。

[ ]

**ご意見など**

お聞きした質問のほか、あなたの自治会・町内会の取り組みや工夫、その他ご意見などありましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

**調査票の回収期限**

平成26年12月12日（金）までに同封の返信用封筒でご投函ください。  
切手を貼る必要はありません。

**調査票の提出先・問い合わせ先**

新潟市中央区自治協議会事務局

新潟市中央区役所 地域課 企画担当 小柳（こやなぎ）、長澤（ながさわ）

電話：025-223-7023（直通）

**超高齢・人口減少社会における  
自治会・町内会の役割に関する調査報告**

発行日 平成 27 年 3 月

発行 新潟市中央区自治協議会 人にやさしい暮らしのまち部会  
中村昌雄（座長）、渡部一成（副座長）、高橋廣光、本間之子、川崎ツキ子、  
志賀美千代、関谷美紀枝、菊地弘隆、津田圭子、長谷川和子、鈴木由美子、  
相田晃子、杉原名穂子、李在億、田村勝義

事務局 新潟市中央区役所地域課  
新潟市中央区学校町通 1 番町 602 番地 1  
TEL : 025-223-7023  
FAX : 025-223-3660  
E-mail:chiiki.c@city.niigata.lg.jp  
URL:<http://www.city.niigata.lg.jp/>

調査協力 中央区内の自治会・町内会の皆様